

どうしてこんなに見る人の想像力をかきたてる絵なのだろうか。ぼくはますますふたりの画家が気になりました。

本橋成一

2017年は、丸木美術館開館50周年という記念の年に当たります。この美術館は、水墨画家の丸木位里(1901~1995)と、妻で油彩画家の丸木俊(1912~2000)が、夫婦共同制作で描いた《原爆の図》を常設展示する目的で建てられました。美術館には丸木夫妻の住居が隣接しており、絵画の展示空間であると同時に、画家の生活空間でもあるという特異な場所でした。

炭鉱やサーカス、上野駅、築地魚河岸など市井の人々の営みを撮り続けていた写真家の本橋成一(1940~)は、1980年代なかばに美術館へ通い、丸木夫妻の日常を数多く撮影しています。本橋は「どんな所でどんなものを食べ、どんな話をしているのか。そして、どのように絵を描いているのか。『反戦画家』として知られている丸木位里・丸木俊ではなく、さらにその奥に広がる位里さん、俊さんの世界を知りたかった」と記しています。

実際、共同制作の現場だけではなく、畑仕事、飼い犬やヤギと戯れる姿、囲炉裏をかこんで食事をする光景など、本橋がカメラを向けたのは、二人の画家の生き生きとした暮らしの風景でした。

美術館開館から半世紀が過ぎてもなお、《原爆の図》の力強い表現は力を失わず、その鋭い問題意識は、今も続く「核の時代」に想像力を拡散させます。その哲学の根源にある丸木夫妻の生命の営み、そして丸木美術館という場の意味を、本橋の写真によって見つめ直し、未来に向けての礎にしていきたいと考えています。



関連企画

- 5月5日(金・祝) 午後1時 丸木美術館50周年開館記念日
- 本橋成一×小室等対談「位里と俊 ふたりの画家を語る」
  - 小室等コンサート
- ※入館料+500円、当日のみ森林公園駅南口より午前11時半、12時半に送迎車が出ます。
- 5月20日(土) 午後1時
- 映画「ナージャの村」上映(1997年、企画・監督:本橋成一、製作:神谷さだ子、小松原時夫、撮影:一之瀬正史、編集:佐藤真、音楽:小室等、語り:小沢昭一、118分)
  - 「本橋成一2017チェルノブイリ再訪ドキュメント(仮)」(2017)上映
  - アフタートーク 聞き手:柿木伸之(哲学/広島市立大学)
- 共催:原爆文学研究会 ※入館料+1000円
- 6月11日(日) 午後2時
- 映画「HELLFIRE: 劫火—ヒロシマからの旅—」上映+監督アフタートーク
- 映画「HELLFIRE: 劫火—ヒロシマからの旅—」  
(1988年、監督:ジャン・ユンカーマン、製作:ジャン・ユンカーマン/ジョン・W・ダワー  
出演:丸木位里/丸木俊、日本語版製作:山上徹二郎、翻訳:袖井林二郎/石川保夫、58分)  
※入館料+1000円、当日のみ森林公園駅南口より午後1時に送迎車が出ます。
- 本橋成一写真集『位里と俊』(オフィスエム刊) 会期中に発売予定

本橋成一

写真家・映画監督 東京生まれ。

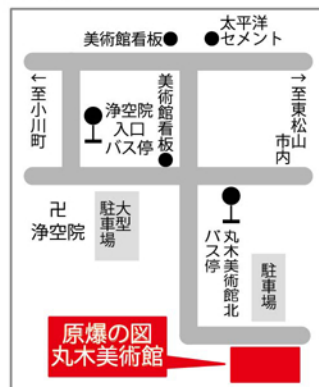
1968年「炭鉱(ヤマ)」で第5回太陽賞受賞。95年「無限抱擁」で日本写真協会賞年度賞、写真の会賞を受賞。98年「ナージャの村」で第17回土門拳賞受賞。主な個展に「本橋成一 ナージュジダ—希望」東京都写真美術(2002)、「ナージュジダ(希望)」サンクトペテルブルク ロシア国立図書館ギャラリー・ロシア(2004)、「在り処」IZU PHOTO MUSEUM(2016)など。

ドキュメンタリー映画「ナージャの村」(1997)、「アレクセイと泉」(2002)、「ナミと唄えば」(2006)、「バオバブの記憶」(2009)を監督。2015年に最新作「アラヤシキの住人たち」を公開。

主な写真集に「ナージャの村」(平凡社、1998)、「アレクセイと泉」(小学館、2002)、「屠場」(平凡社、2011)、「上野駅の幕間」(平凡社、2012)、「サーカスの時間」(河出書房新社、2013)、「炭鉱(ヤマ)」(海鳥社、2015)、「無限抱擁」(西田書店、2016)、「在り処」(NOHARA、2016)、「築地魚河岸ひとりの町」(朝日新聞出版、2016)などがある。

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

- 5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌
- 〔常設展〕「原爆の図」連作  
「水俣の図」  
「南京大虐殺の図」  
「アウシュビッツの図」  
「水俣・原発・三里塚」  
絵本原画、丸木スマ水彩画等
- 〔開館時間〕 午前9時~午後5時  
〔休館日〕 月曜日(祝日の場合は翌平日)  
4/25~5/7は無休  
〔入館料〕 大人900円 中高生または18歳未満600円  
小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、  
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引  
障碍(しょうがい)のある方は半額



〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401  
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

- 〔URL〕 <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>  
〔Eメール〕 [marukimsn@aya.or.jp](mailto:marukimsn@aya.or.jp)  
〔交通〕 ●東武東上線森林公園駅  
南口よりタクシー10分、徒歩50分  
●東武東上線東松山駅・高坂駅より  
市内循環バス唐子コース(日祝運休)  
「浄空院入口」「丸木美術館北」下車  
●関越自動車道  
東松山インターより小川方面10分  
●東武東上線つきのわ駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい

〔市内循環バス唐子コース時刻表〕

- 丸木美術館行き(日祝運休)  
08:05 東松山駅東口→08:22 浄空院入口  
11:12 東松山駅東口→11:29 浄空院入口  
12:07 高坂駅西口→12:25 丸木美術館北  
13:12 東松山駅東口→13:29 浄空院入口  
15:22 高坂駅西口→15:40 丸木美術館北
- ※帰りの時刻はお問い合わせ下さい。